

令和4年度 日本原子力学会 北関東支部 講演会 実施報告

開催日時：令和5年2月7日（火）14:00～16:25

開催場所：Zoom ウェビナー

令和4年度の北関東支部講演会を令和5年2月7日（火）にZoom ウェビナーにて開催いたしました。当日は、91名（Zoom 接続数）と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

講演会のプログラムは以下のとおりです。

～ 第Ⅰ部 ～ エネルギー安全保障への原子力の貢献

- ① 山口 彰 氏（公益財団法人 原子力安全研究協会）
原子力の開発・利用にあたっての基本原則について

～ 第Ⅱ部 ～ 既存軽水炉の運転再開に向けた取組み、新型炉・革新炉開発の取組み

- ② 山口 嘉温 氏（日本原子力発電株式会社 東海第二発電所）
東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況について
- ③ 木藤 和明 氏（日立GEニュークリア・エナジー株式会社 原子力計画部
次世代技術センタ）
エネルギー安全保障と日立GEの新型炉・革新炉開発の取組みについて
- ④ 早船 浩樹 氏（日本原子力研究開発機構 高速炉・新型炉研究開発部門）
革新炉開発の動向、その期待 ～GEN-IV GIF活動を踏まえて～

第Ⅰ部では、山口彰氏に原子力政策及びエネルギー政策、運転期間延長や次世代革新炉等について俯瞰的な視点でご講演いただきました。また、第Ⅱ部では山口嘉温氏に東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況について、木藤氏に日立GEの新型炉・革新炉開発の取組みについて、早船氏に原子力機構を中心とした革新炉開発の動向についてご講演いただきました。活発な質疑の中、聴講者にとってエネルギー安全保障への原子力の貢献を改めて考え、研究開発・技術開発の最新の状況を把握する良い機会となりました。

以上